

味

三年

回数 8
筆順
オン
クン

あじ・あじわう

成り立ち



木が新しいえだを出したばかりの形をあらわし、「まだよく生長しきらない」といういみの「未(年624)」と「口」とを組み合わせて作った字です。

「まだよくでき上がっていない食べものを『あじ』をみるために口に入れる」ことをあらわしたもので、「あじをみる」ことです。おいしい食べものを作るには、たびたびあじをみて、「あまみ」をくわえたり、「からみ」をくわえたりして「味を調える」のです。こうして初めておいしいごちそうができて上がるわけです。

使い方

▽おとといの日よう日に、いちごがりに行きました。とりたてのいちごは、いままでに味わったこともないほど、おいしくかんじられました。

▽ぼくといもうとはラーメンが大好きです。ぼくはしお味のラーメンが大好きですが、いもうとはしょうゆ味が好きです。

熟語例

▽味覚(味をかんじる感覚。「中村さんは味覚がはったつしていて、食べ物にうるさい」などというふうにつかいます。)

▽美味(味がよいこと。おいしいこと。「まことに美味なくだものすな」などというふうにつかいます。)

▽珍味(珍しく、おいしい味。「山海の珍味がならんだ、ごちそうを前にして、びつくりした」などというふうにつかいます。)

▽興味(おもしろみ。ところがひかれるような、おもしろいこと。「ぼくは、古いものがたりに興味をもっています」などというふうにつかいます。)

使い方

▽しようぼうじどう車がとまったかと思うと、下りてきたしようぼうたちは、命令の下にてきぱきとしよう火かつどうをはじめました。

▽命の長いみじかいは天命だと思っていますから、長生きすることよりも、生きている間にりっぱなしごとをすることにつとめたいと思います。

熟語例

▽命令(「○○しなさい」とさしずすること。いいつけること。使の方の「命令」は「さしず」といういみ)

▽拝命(「拝礼(おじぎ)」をして命令をうける」ということで、「つつしんで命令をうける」ことです。)

▽任命(人に官職につくよう命令すること。【例】小学校長に任命する。)

▽天命(「天の神さまの命令」といういみのことばで「人間の力ではどうすることもできないもの」といういみを含めてつかいます。)

▽寿命(寿は「命が長い」といういみの字で、「命の長さ」といういみにつかわれます。)

▽生命(「命」のこと。)

命

三年

回数 8
筆順
オン
クン

いのち

成り立ち



「口」と「令」を組み合わせて作った字で、「口でする令」といういみの字です。「令」は、天子が命令する文書(書きつけ)をあらわした字です。それをちよくせつ「口で命令する」ときにこれを「命」といって、「命」と「口」とを合わせて、「命令」ということができました。今では、「口」でするしなにかかわらず、つかっています。

人の「いのち」は天の神の命令で生まれるものと、むかしの人のはかんがえて、「人のいのちは天命である」といいました。それで「命」という字を「いのち」とよむようになりました。

「メイは漢音で、ミョウは呉音。同じ音の字には、「名(名誉・大名)」「明(明月・燈明)」「冥(冥土・冥利)」がある。」